

石破新首相の所信表明演説

石破首相は10月4日、衆参両院の本会議で就任後初めてとなる所信表明演説を行いました。所信表明演説は、首相が自身の考え方を中心に、国政の方針を訴える演説で、首相の個性が最も表れる演説と言われています。どのようなものだったのか、今月のCBCA NEWSで確認します。

✚ 所信表明演説の概要

(はじめに)

- 失われた政治への信頼を取り戻し、納得と共感を頂きつつ安全安心で豊かな日本を再構築する。
- 「ルールを守る」「日本を守る」「国民を守る」「地方を守る」「若者・女性の機会を守る」、これらの五本の柱で、日本の未来を創り、そして、未来を守る。

(ルールを守る)

- 「政治家のための政治ではない、国民のための政治」を実現する。
- 改正された政治資金規正法を徹底的に遵守する。

(日本を守る)

- 現実的な国益を踏まえた外交により、日米同盟を基軸に、友好国・同志国を増やし、外交力と防衛力の両輪をバランスよく強化し、我が国の平和、地域の安定を実現する。
- 自衛官の生活・勤務環境や処遇の改善に向け、総理大臣を長とする関係閣僚会議を設置し検討。
- 子育て世帯の意見に十分耳を傾け、今の子育て世帯に続く若者が増えるような支援に全力。
- 「デフレ脱却」を最優先に実現するため、「経済あつての財政」との考え方に立った経済・財政運営を行い、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」を実現しつつ、財政状況の改善を進める。
- コストカット型経済から高付加価値創出型経済へ移行しながら、持続可能なエネルギー政策を確立し、イノベーションとスタートアップ支援を強化。

(国民を守る)

- 適切な価格転嫁と生産性向上支援により最低賃金を着実に引き上げ、2020年代に全国平均1500円という高い目標に向かって努力を続ける。
- 自由に働き方を選択しても不公平にならない職場づくりを目指した個人のり・スキリングなど人への投資を強化し、将来の経済のパイを拡大する施策を強化。
- 現在の内閣府防災担当の機能を予算・人員の両面において抜本的に強化するとともに、平時から不断に万全の備えを行うため、専任の大臣を置く防災庁の設置に向けた準備を進める。

(地方を守る)

- 地方創生の原点に立ち返り、地方を守り抜く。
- 全国各地の取組を一層強力に支援、地方創生の交付金を当初予算ベースでの倍増を目指す。
- 少子高齢化や人口減少に対応するため、デジタル田園都市国家構想実現会議を発展させ、「新しい地方経済・生活環境創生本部」を創設し、今後十年間集中的に取り組む基本構想を策定する。

(おわりに)

- いつの間にか、日本はお互いが足を引っ張ったり、悪口を言い合ったりするような社会になってしまった。私は、もう一度、全ての国民の皆様に笑顔を取り戻したい。

📌 ポイント解説

石破首相の所信表明演説は、特徴として、山積する政治課題を丸ごと詰め込んだような内容となりました。演説時間も約34分と、岸田前首相の26分、菅元首相の24分と比べてかなり長いです。全体として、近年の首相の演説と比べて、総花的で、独自色に欠ける印象です。

「守る」をキーワードとして構成し、特徴を際立たせようとする意図はありますが、その内容の殆どは岸田政権が既に推し進めているものを踏襲しているにすぎません。例えば、「日本を守る」の下りでは、自衛官の処遇改善等、防衛問題に詳しい石破氏ならではの言及はあるものの、防衛力強化そのものは岸田政権において既に動き出している最重点政策です。防衛政策以外の、少子化対策やデフレ脱却などにおいても同様で、岸田政権の方針や政策を踏襲する内容が続きます。石破氏は、岸田政権では閣外におり、加えて「党内野党」と言われるほど政権に物申す政治家で、しかも総理の座をずっと以前から狙っていたにも関わらず、新たな方針や政策が演説の中で掲げられることはありませんでした。

「防衛政策」や「地方創生」など石破氏のライフワークに位置するテーマの扱いも、他の政策課題と大きく異なるほどには聞こえてきません。例えば、菅元首相は、Go To キャンペーンやマイナンバーカードといった個別具体的な施策の推進を強調し、岸田前首相は、アベノミクスからの転換による「成長と分配の好循環」のコンセプトを新たに掲げました。石破新首相の演説にはそれがありません。色々な事をやってみなさんを守ります、といった感じですが、ややもすると退屈で、ただ長尺な演説になってしまいました。

もっとも、石破氏を取り囲む状況を考えれば、そうした演説になってしまうのはやむを得ない事かもしれません。石破氏の党内基盤が弱いうえに、政治とカネの問題から自公政権への逆風が続くなか、自身の考えを強く打ち出しても、そう簡単に事が進まないのは容易に予想出来ます。まずは党内融和を図り、野党との協調を見据え、当たり障りのない演説内容に留めたのかもしれませんが。

石破首相が本当に「守りたい」のは「総理の椅子」なのかもしれませんが、そう断じるのは、今後をもう少し見てからにしたいと思います。

岸田元首相の所信表明演説(2021年10月)概要 (新しい資本主義の実現)

- ・ デフレからの脱却を成し遂げ、大胆な金融政策、機動的な財政政策、成長戦略の推進に努める。
- ・ 「成長と分配の好循環」がコンセプト。「分配なくして次の成長なし」

(成長戦略について)

- ・ 科学技術立国の実現
- ・ デジタル田園都市国家構想
- ・ 経済安全保障

(分配戦略について)

- ・ 働く人への分配機能の強化
- ・ 中間層の拡大と少子化対策
- ・ 看護、介護、保育などの従事者の収入増

(国民を守り抜く、外交・安全保障)

- ・ 自由、民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値を守り抜く
- ・ 我が国の平和と安定を守り抜く
- ・ 地球規模の課題に向き合い、人類に貢献し、国際社会を主導する

(おわりに)

- ・ 「早く行きたければ一人で進め。遠くまで行きたければ、みんなで進め。」のことわざを引用。

一般社団法人全国経営診断士協会

〒105-0012
東京都港区芝大門 1-1-32
御成門エクセレントビル 8階

TEL : 03-6459-0161 FAX : 03-6435-7717
mail@cbca.jp http://www.cbca.jp

お問い合わせ先